



さん が

第 七十 号

平成 二三年
西暦 二〇一一年
孟蘭盆七月号

曹洞宗 東運寺

京都市伏見区淀新町六一八一
TEL 〇七五-六三一-二二七二
FAX 六三一-五七二五
E-MAIL sanga@tounji.net

棚経 お盆のお参りの日程を

少し変更します

昨年のお盆は東堂の怪我により、何軒かのお宅にご迷惑をお掛けし、申し訳ありませんでした。

そのため、今年からスケジュールに、余裕を持たせるため、少し日程の変更を行うことになりました。

お参りは例年、八月に入りましたら、遠方の方から順にお伺いしており、二人でおよそ十五日間をかけて回らせていただいております。

遠方のみなさまには、日時のご案内を「ハガキ」でお知らせしておりましたが、**今年はそれに替わり、このおたよりに同封しております。**

何軒かの方には、大きな変更をお願いすることになりますが、どうかあしからずご了承下さいますよう、重ねてお願い申し上げます。

なお、淀の方は変更はありません。



大本山總持寺への団参に行ってきました



さる六月一日から三日にかけて、大本山總持寺にお参りしてきました。

今回は、總持寺が能登半島から、横浜の地へ移って百年という記念の年であり、京都府全体での研修でもあったのです。

総勢は百二十名を超え、バス四台を連ねての大団体。東運寺からは住職をふくめ四名が参加し、それぞれの思いが深まったものと思います。

二日目からは、おもに鎌倉での観光となりました。

鎌倉五山のひとつ円覚寺や、鶴岡八幡宮、大仏で有名な高德院など。雨に降られはしましたが、その分情緒にあふれた街並みを堪能しました。ご参加くださったみなさまには、あらためて感謝申し上げます。

私たちは、自分の「いのち」が大切なことを知っています。

それは、じつは「いのち」に限りがあること、あか
しであるかも知れません。

もしも限りがなかったら、いったいどうなるでしょう
か。あることが当たり前になり、大切にすることも、愛
おしく思うことも、いつかなくなってしまうでしょう。

しかし私たちは、「いのち」を大切にしたいと願います。
また、人が大切にしている姿を見ると、心を動かされま
す。

たとえば私たちは、大震災という苦難に遭っても、力
強く生きていこうとする人たちに、とても勇気づけられ
ます。「いのち」は限られたものであり、だからこそ、お
ろそかにしてはいけないことを教えてくれるからで
しょう。

「いのちに限りがあること」と、「いのちを大切にす
ること」は、車の両輪のように離れることはありません。
どうかときに思い出してください。私たちはその両輪の
バランスの上で、毎日生きていることを。



東日本大震災 義援金を送りました

春のお彼岸中にお預かりしていただきました義援金を、三
月三十一日、日本赤十字社あて振り込みをいたしました。
ご賛同をいただき、たくさんのご賛助をいただきましたま
たこと、厚くお礼申し上げます。

口座番号	00140-8
加入者名	日本赤十字社 東大関東大震災義援金
金額	507 千 百 十 万 千 百 十 円 108185
おなまえ	東運寺檀信徒有志
依頼人	
科目	日 附 印 23-03-31

ご覧のように、はじめ
に思っていた額を大き
く超える支援をさせて
いただくことができました。

子ども禅の集い

- ・ 日 程 七月二五日（月）～二六日（火）
- ・ 内 容 大本山永平寺での宿泊
お菓子の城でのクッキー作りほか
- ・ 参加費 一万円
- ・ 集 合 京都駅八条口の予定

参加してくれた子どもたちからは「厳しいけれど楽
しかった」、保護者の方からは「食事の前に手を合わせ
るようになった」とのお言葉もいただいています。